

副本

平成20年(行ウ)第2号 土地収用法に基づく事業認定処分取消訴訟事件

原告 下郷 稔 ほか14名

被告 国(処分行政庁 北陸地方整備局長)













西塔	中正	博
中濱	朋巳	
小龍	涉	

証拠説明書

平成22年4月16日

金沢地方裁判所民事部合議B係 御中

被告指定代理人

早川	充	
本松	智	
西尾	一義	
恒川	衆作	
河合	由貴	
山本	公彦	
岩見	靖一	
樋上	浩司	
稲葉	真	
笠松	美樹	
池田	公隆	
山田	智之	

なお、略語等は、従前の例による。

番号	標目 (作成者)	原本 写し	作成 年月日	立証趣旨
乙190	改訂版〔逐条解説〕河川法解説 (河川法研究会 (編著))	写し	平成20年2月	一般的に河川整備計画の目標を定めるに際し、他河川とのバランスを考慮することが求められること
乙191	一級水系の河川整備基本方針及び河川整備計画の整備目標流量 (石川県)	写し	平成22年3月	県庁所在地が氾濫域となる一級河川常願寺川(富山市)、一級河川九頭竜川及び支川足羽川(福井市)にあっては、計画規模が150分の1であっても基本高水ピーク流量に対し高い整備計画流量が設定されていること
乙192	二級水系の河川整備基本方針及び河川整備計画の整備目標流量 (石川県)	写し	平成22年3月	河川整備計画が策定(公表)されている石川県及び隣県(富山県、福井県)の二級河川においては、河川整備方針と河川整備計画の目標流量が一致している実態があること
乙193	基準地点(犀川大橋)における洪水量の比較イメージ (石川県)	写し	平成22年3月	仮に、辰巳ダム計画におけるハイドログラフにおいて犀川ダム及び内川ダムの2ダムのみで洪水調節を行う場合は、基準地点(犀川大橋)に対して毎秒4...

--	--	--

0 立方メートルの調節
能力を有するに止ま
り、さらに毎秒230
立方メートルの洪水調
節が必要となること